



記者発表資料
平成20年1月16日
財団法人横浜開港150周年協会
広報部長 望月 恵子 TEL222-1508
横浜市開港150周年・創造都市事業本部
150周年記念事業推進課
担当課長 出口 洋一 TEL671-4075

横浜市市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

横浜開港150周年記念テーマイベント

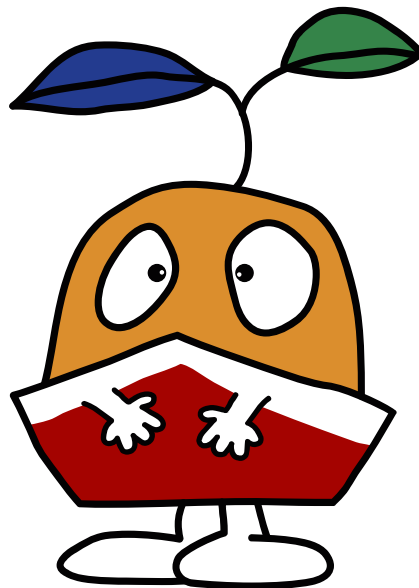
「開国・開港Y150」開幕に向け加速中

～横浜開港150周年500日前カウントダウン～

1 横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクターの愛称決定

(1) マスコットキャラクターの愛称は、「たねまる」に決まりました。 (別紙資料1)

2007年11月1日から
11月28日までに公募
したところ、日本全国から
4906点の応募があり、
選考委員会にて審査を行い、
決定しました。
今後、横浜開港150周年
のシンボルとして、
横浜市内、神奈川県内、
さらに全国、そして海外へと
「出航」していきます。



横浜開港150周年記念事業
マスコットキャラクター

「たねまる」

(2) マスコットキャラクターの表彰式を横浜駅西口で開催します。 (別紙資料2)
マスコットキャラクターデザイン・愛称の表彰式を1月19日(土)午前11時45分から横浜駅西口高島屋前広場で開催し、あわせて市民へのお披露目を行います。是非お越しくください。

2 「開国・開港Y150」テーマイベント

- (1) テーマイベント「開国・開港Y150」コンテンツ進行中 (別紙資料3)
～「海洋都市Yシアター」映像プロデューサーに岩井俊二氏を起用～
ベイサイドエリア 6 会場のひとつ、「想像力の種」をテーマに持つ、大さん橋ホールでの映像プロデューサーに 岩井 俊二氏 を起用します。岩井氏は横浜在住経験が在り、数々の話題作にも「横浜」を取り上げています。今回初挑戦のアニメーション映像のプロデュースを通して未来の横浜へのメッセージを発信していきます。
- (2) 市民が創る「開国・開港Y150」 開港150周年に向け市民参加のワンストップ機能として「市民参加センター（仮称）」を2008年度に設置します。

(別紙資料4)

「自分で何か企画したい」「開港150周年を少しでも手伝いたい」などの開港150周年への多様な市民参加ニーズに対応するワンストップ窓口として、2008年度に、横浜開港150周年協会内に「市民参加センター（仮称）」を設置します。

3 500日前（1月19日）カウントダウンイベント

- (1) ヒルサイド「市民創発プログラム」がいよいよ始動します。 (別紙資料5)
ヒルサイドでは公募による308名の市民創発メンバーが廃校となった旧若葉台西中学校に集まり、プロジェクトづくりを行っていくワークショップ「創発支援プログラム」を開始します。
- (2) 横浜FUNEプロジェクト 金沢区野島青少年研修センターでワークショップを開催します。 (別紙資料6)
日比野克彦アートプロデューサーとともに総勢約120人の参加者が力を合わせ、親子や子ども同士の交流を図りながら、太平洋航路第1船の「コロラド号」や地元の漁船等をモチーフに、ダンボールで横浜ゆかりのFUNE（船）を制作します。
- (3) マスコットキャラクター「たねまる」キャラバン隊が150周年をPR

(別紙資料7)

横浜開港150周年500日前をむかえ、盛り上がりの気運をよりいっそう高めるため、横浜駅西口から山下・山手地区におけるマザーポートエリア各所でマスコットキャラクター「たねまる」がPR活動を展開します。



横浜開港150周年記念テーマイベント
「開国・開港Y150」ロゴマーク

<http://www.yokohama150.org>